

## LAA 評価基準変更について

この度「日本自動車査定協会」、「日本オートオークション協議会」の修復歴判定基準改正に伴い、LAA 評価基準が下記のとおり変更となりますので、お知らせ申し上げます。



### 1. 骨格部位の修復歴を判断するサイズ基準が変更となります。

現行		新基準
小さなもの(=握りこぶし程度) ※クロスメンバーに使用されている表現	⇒	小さなもの(=カードサイズ未満)
軽微なもの(=500 円玉程度) ※クロスメンバー以外の骨格部位に使用されている表現	⇒	小さなもの(=カードサイズ未満)

### 2. フロントクロスメンバーの定義が変更となります。

現行		新定義
左右サイドメンバーに溶接されているもの	⇒	左右サイドメンバーに直接溶接されているもの(関節接合は除く)

クロスメンバーの定義から外れるものは骨格部位として扱わず「ロアサポート」とします。

A) クロスメンバーとして扱うもの	B) クロスメンバーとして扱わないもの
左右サイドメンバーに直接溶接されていて、且つ部品が左右で分割されていないもの	左右サイドメンバーに直接溶接されていないもの(複数の部品で間接接合されているもの)
	

※「サ」=サイドメンバー

※上記車両の場合はロアサポート

上記基準は、平成 31 年 4 月 1 日以降のオークション開催分より適用となります。つきましては月またぎの再出品車輛の場合、評価点が変わることがありますのでご注意ください。